

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点目標】

『学び合い高め合う子どもの育成』

〔笑顔!〕〔習慣!〕〔学び合い!〕

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489



『時の流れの感じ方』

校長 木村 英明

桜前線北上の情報には気持ちが軽くなるものの、4月14日夜の地震を皮切りにした「熊本地震」の被災状況が気になります。私も北海道南西沖地震の際に避難所で余震を経験しましたが、本当に不安ですし、昼夜関係なくやってくる揺れのためにどうしても寝不足になります。被災者の方々には一日も早く平穏な生活が戻ってくることを願うばかりです。

さて、新年度がスタートして一か月近くが経過しようとしています。年度始めのこの時期は日々慌ただしく感じて、時間の流れも速く感じる方も多いのではないのでしょうか。また、年齢を重ねるほど、一年が過ぎるのが速くなる・・・と感じたことがある人も少なくないと思います。このように「時間の心理的長さは年齢に反比例する」という内容は「ジャンネーの法則」と言われるものです。ただ、この法則に科学的裏付けはないそうですが、「年齢を重ねるほど、1年が過ぎるのが速くなる」というのは頷けるものがあります。



この法則の考え方のひとつに「新鮮な経験」が多いほど、時間の経過は長く感じるというものがあります。この考え方は、子どもの頃は、見るもの聞くもの未経験のことが、たくさんの出来事があった(=時間が長い)と感じる。しかし大人になると、「経験」によって処理できることが多くなり、その分、新鮮さや強い印象が薄くなる。だから、出来事の数が少ない(=時間が短い)と感じるというものです。

このように考えると、子どもたちは、新しい学年に進級して日々「新鮮な経験」をしていることになり、時間の流れを長く感じているのかもしれませんが。とりわけ小学校に入学したばかりの1年生は「新鮮な経験」の連続かと思えます。ただ、「新鮮な経験」が多いということは、心の動きも大きいと思えますし、きっと疲れも伴うものだと思います。大型連休も目前です。どうか、少し疲れた心と体をリフレッシュする機会にしてほしいものです。また、お子さんが外出する際には交通安全にも一言声をかけていただきますようお願い申し上げます。



今年度最初の一斉参観日

～「多数のご参観に感謝いたします！！」

4月15日（金）の一斉参観日、1年生にとっては、入学して1週間たった中での参観日でした。お父さんやお母さんが来てくれるかどうか、朝からそわそわしながらも、今日は一生懸命がんばるぞと張り切っていました。全校では、8割以上の保護者の皆様の参観があり、子どもたちの学習や生活の様子、授業の進め方などに高い関心をもっていただいていることに感謝です。新年度が始まり1ヶ月が経ちましたが、学校としても期待に応えるべく努力をして参ります。

◇授業の一コマを紹介いたします。

1年 国語「ひらがな」



2年 算数「表とグラフ」



3年 算数「かけ算」



4年 道徳「きっとできる」



5年 道徳「魔法のことはば」



6年 社会「国づくりへの歩み」



1年生のお世話活動より



「学校に一日でも早く慣れてもらおう」と6年生が1年生のお世話活動を行っています。いす取りゲームやじゃんけん列車等一緒にできる活動を行いました。

集団下校の様子より



地域子ども会の組織づくり（会長・副会長の決定）を行った後、高学年は、低学年を守るようにして集団下校を行いました。

大型連休が始まります

江差町は全国的にも有名な観光地だけに、新幹線の開業に伴うツアーなどで様々な人が訪れることが予想されます。

1年生は4月27日（木）に防犯教室を行いました。事件や事故に巻き込まれないよう日ごろから気をつけていることは存じますが、「知らない人についていかない」、「早めにもその場から立ち去る」など具体的な指導を繰り返しお願いします。



平成28年

全国学力学習状況調査の様子から



4月19日（火）に6年生を対象に「国語A、算数A、国語B、算数B、児童質問紙」の調査が行われました。本校では平成25年度から、全国平均以上か、同じ程度の正答率となっています。今年度も子どもたちは、難しい問題もあきらめずに最後まで取り組んでいました。

[自己採点の結果から]

○国語Aについて

漢字の読み書きや回答を選択する問題では、8割以上の正答率がありました。目的や意図に応じて図と表を関連付けること、集めた情報を目的や意図の応じて関係付けていくこと、ローマ字の読み書き（りんご→ringo あさって→asatte hyaku→ひゃく の問題が出ました。）に課題があるようです。

○国語Bについて

資料の内容を読み取って回答を選択する問題については、高い正答率がありました。グラフを基に自分の考えを書くこと、メモを基にして書くことなどの条件に基づいて記述することに課題があるようです。

○算数Aについて

計算問題では9割以上の正答率があり、全体を通して8割近くの高い正答率がありました。小数点を含む数の大小関係（7.1 7.01 の中で一番小さい数と一番大きい数を求める。）や百分率で表すことについては課題があるようです。

○算数Bについて

示された条件を基に同じ決まりが成り立つかを問う問題では、9割の正答率がありました。式の中に示された数値の意味を理解すること、内容に着目して式の意味の説明を書くことに課題があるようです。

○児童質問紙について

- ・「朝食は毎日食べていますか」・「将来の夢や自信を持っていますか」・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」・「自分には、よいところがあると思いますか」・「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対しては、「あてはまる」と回答した児童がほとんどでした。
- ・「1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか」については、2時間から3時間と回答した児童が多かったです。

正式な結果発表は8月末になりますが、今回の調査で見えてきたことをこれからの授業に生かし、基礎・基本や応用・発展の力のより一層の定着を図ってまいります。また、家庭学習や生活リズムチェックシートの活用等を通して、保護者の方との連携した取組も進めたいと考えています。